

三沢市立三沢病院での内科実習を終えて

弘前大学医学部医学科 5年 毛利 惇一郎

2026年1月26日から2月6日の二週間、短い期間ではございましたが、非常に充実した時間を過ごさせていただきました。至らぬ点多々あったかと存じますが、指導医の先生方をはじめ、皆様に温かくご指導いただきましたこと、深く感謝申し上げます。

実習初日は大雪による公共交通機関の運休により、急な欠席となりご迷惑をおかけいたしました。管理課の担当者様には、その際も丁寧にご対応いただき、心より感謝しております。

実習内容につきましても、多岐にわたる学びがありました。内視鏡検査では、手技のポイントや適応、所見の捉え方などを実践的にご教示いただきました。



外来診療では、検診のフォローから終末期医療まで幅広く経験させていただきました。特に終末期医療において、患者様やご家族に「残された時間の重み」を伝え、今後の過ごし方を的確に提示される場面は非常に印象に残っております。患者様ごとに疾患の解釈や背景が異なる中で、疾患そのものだけでなく、心理社会的な側面を含めて総合的に理解し、ご意向を汲み取ることの重要性を痛感いたしました。また、診察前に先生から思考プロセスを共有いただいたことで、より深く診療の意図を理解することができました。さらに、病棟実習では市中病院が果たすべき多角的な役割を実感し、救急当番では膨大な鑑別疾患から優先順位を立てて診断に至る思考経路を間近で拝見でき、大変勉強になりました。

実習外の面でも、宿舎や食事、学生用控室など、非常に恵まれた環境を整えてくださりありがとうございました。おかげさまで学習に専念することができました。指導医の先生には、将来のキャリアについても気さくにお話しいただき、大変励みとなりました。

最後になりますが、改めて親身なご指導を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。今回の実習で得た経験を糧に、今後の実習、そして将来の研修に向けてより一層精進してまいります。三沢市立三沢病院の益々のご発展と、職員の皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げます。

改めまして、二週間ありがとうございました。

実習期間：2026.1.26～2026.2.6